

ホスト・ソフトウェアのアップデート

Midas Digital System と関連するネットワーク機器のホスト・ソフトウェアのアップデートについて説明します。

アップデートについて

PRO2 にはシステムを簡単かつ明快地にアップデートする方法を提供するアップデート機能があります。この機能を利用して、最新版のホスト・ソフトウェアをコントロールセンターとネットワーク接続した DLnnn または Klark Teknik DN9331 Rapide Graphic Controller ユニットにインストールできます。

まず、アップデート・ファイルを USB メモリ・スティックにコピーし、この USB メモリをコントロールセンターの USB スロットに挿入します。コンソールがアップデート・ファイルを認識した後、アップデートを起動できます。この後、アップデートはシステム内のすべてのユニットを検出し、その中で選択して新しいソフトウェアにアップグレードします。

旧バージョンのホスト・ソフトウェアが必要な場合は、アップデートを使用して、そのバージョンをシステムにインストールできます。

アップデータ画面について

インストール中、アップデータ画面が表示されます。この画面からアップグレードするシステム機器を選択してアップデート手順を開始できます。また、手順の進行状況も表示されます。

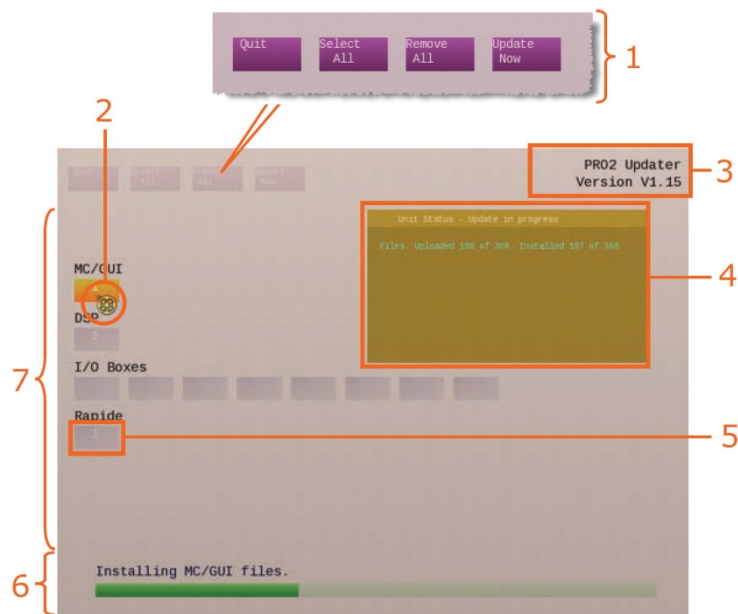




図 A: 代表的なアップデータ・ディスプレイ

項目	説明	機能
1	アップデータ・メニュー	次のページにある「アップデータ・メニュー」を参照してください。
2	ポインタ	ポインタはアップデート状態に応じて2つのアイコン（両方も半透明の黄色）で表示されます。アップデータでアップデートする機器を選択できるときは、矢印アイコン  に変わります。アップデート手順中はメダル・アイコン  になり、進行中は回転します。
3	ホスト・ソフトウェアのバージョン	システムをアップデートするホスト・ソフトウェアのバージョンが表示されます。
4	Unit Status ウィンドウ	次のページにある「Unit Status ウィンドウ」を参照してください。
5	機器ブロック	次のページにある「機器ブロック」を参照してください。
6	アップデート・ステータスバー	現在アップデート中の機器またはアップデート手順全体のどちらの場合でも、緑色のバーはアップデート手順の進行状況を示します。真上のテキストは緑色のバーが表している状態を示します。
7	機器エリア	アップデートできる実際のシステム機器が表示されます。







アップデート・メニュー

次の表はアップデート・メニュー・コマンドの説明です。

コマンド	機能
[Quit]	アップデートを終了させます。電源をいったん切って入れ直すと、コントロールセンターは GUI メニューからアップデート・コマンドが選択された時点の操作状態に戻ります。
[Select All]	接続・認識されたネットワーク内のすべての Midas 機器を選択します。
[Remove All]	接続・認識されたネットワーク内のすべての Midas 機器の選択を解除します。
[Update Now]	アップデート手順を開始します。

機器ブロック

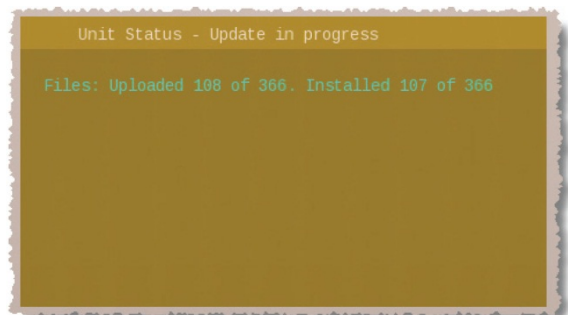
機能ブロックは接続されたシステム内の実行可能または実際の機器を表します。機器ブロック番号は機器の ID を指しています。各機器ブロックの色は機器のアップデート状態を示します (次の表を参照)。

状態	説明
	グレーの背景 - アップデータの「アップグレード・クライアントのトリガー」手順中表示されます。この色がアップデート手順の最後まで変化しない場合は、この位置に接続されている機器がない、または機器が認識されていません。
	ブルーの背景でメダルなし - アップデータの「アップデート・クライアントのトリガー」手順が終了した後の状態で、この位置に接続されている機器があることを知らせます。
	ブルーの背景にメダル - この機器のアップデートが選択された後の状態です。
	金色の背景にメダル - この機器は現在、アップデート中です。
	緑色の背景にチェックマーク - この機器のアップデートは無事完了しました。
	赤の背景にバツ印 - この機器のアップデートは失敗しました。

Unit Status ウィンドウ

ポインタを機器に移動すると、機器のアップデート進行状態について詳しい情報が表示されます。画面右上部分に半透明のウィンドウが開きます (右の画面例は代表的なもの)。このウィンドウの上段にタイトルバー、その下に情報が表示されます。

ウィンドウの色は対応する機器ブロックの色と同じで、前項で説明したように、そのアップデート状態を知らせます。



PRO2 アップデータの使い方

Midas Digital System のアップデート方法について説明します。なお、アップデート開始前に用意しておくものといくつか準備作業が必要です。

用意するもの

アップデート開始前に、次のものが手元に揃っていることを確認してください。

- **USB メモリ・スティック** - USB メモリ・スティック (フラッシュ・ドライブ) は、バックアップが必要なショーを保存できるメモリ容量と、アップデート・パッケージ用 (ファイルは.tar 拡張子の圧縮ファイル) の 400MB 程度を確保できる十分な空き容量のあるものを用意してください。また、USB は 2.0 仕様を推奨します。
- **安定した電源** - アップデート中に電力が非動作まで低下することはめったにないのですが、万一起きた場合には一部のシステム・コンポーネントが機能しなくなります。このため、アップデート手順の開始前に警告ウィンドウが開きます。

準備

アップデートを行う前に、次の操作を行ってください。

- **ショーのバックアップ** - アップデート終了後、Midas Digital System の電源をいったん切って入れ直したとき、ショーファイルが消去されることがあります。このため、ショー・ファイルを USB メモリ・スティックにバックアップを取って頂き、そのファイルを PC にコピーしておくことをお勧めします。
- **機器の接続点検** - システム上のすべての機器が正しく接続・構成され、正しく機能していることを確認してください。
- **スピーカーの電源オフ** - アップデート手順中、DSP と AES ルーティングによって多数のリセットが行われます。この間、オーディオは制御されない状態になることがあります。このため、システムに接続したスピーカーはすべてオフにすることを勧めます。
- **十分な時間** - アップデート手順は完了まで少し時間がかかるので、開始前に、少なくとも 1 時間の余裕があることを確認してください。上演直前のアップデートは避けてください。
- **USB メモリ・スティックの構成** - USB メモリ・スティックの階層最上位に下記のフォルダを作成してください。その後、最新のアップデート・ファイル (xxx.tar) をそのフォルダにコピーします。

システムの種類	フォルダ名
PRO1	DL1Upgrades
PRO2	DL2Upgrades
PRO3-6-9(b)	DL3Upgrades
XL8	XL8Upgrades

システムのアップデート

❗ システムをアップグレードすると、コントロールセンターは同期ではなくなり、システムから大きいノイズが発生することがあります。システムのアップグレード前に、必ず PA をアンプ/スピーカーでミュートしてください。

❗ PRO2 がホスト・ソフトウェアのインストール中は、システム機器の電源を切らないでください。

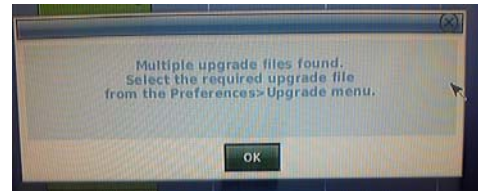
インストール・プロセスは、PRO2 コントロールセンターの電源を入れたまま、動作している状態で行います。

>> アップデート

- 1 PA をアンプ/スピーカーでミュートします。
- 2 .tar ファイルを保存した USB メモリ・スティックをシステムのコントロール・サーフェスの USB スロットに挿入します。この後、「Run upgrade utility?」ウィンドウが自動的に開きます。

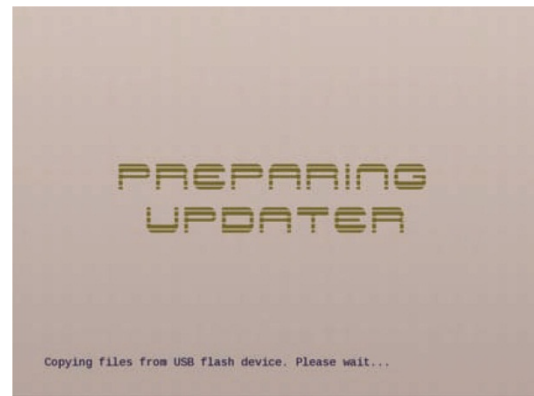


注) USB メモリ・スティックにアップグレード・ファイルが複数ある場合は、メニューから適切なファイルを 1 つ選択するようメッセージがでます。1 つしかない場合は、そのアップグレード・ファイルが自動的にロードされます。

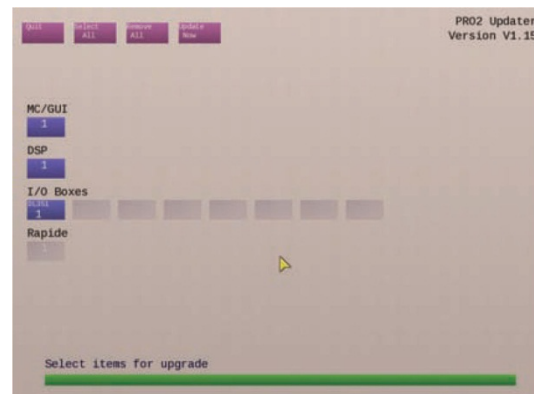


以下はアップデート手順です。

- 3 「PREPARING UPDATER」画面が開きます。アップデートは開始前にアップデートに含まれるすべてのファイルの完全性チェックを行います。画面の下のテキストはアップデートの進行状況を知らせます。

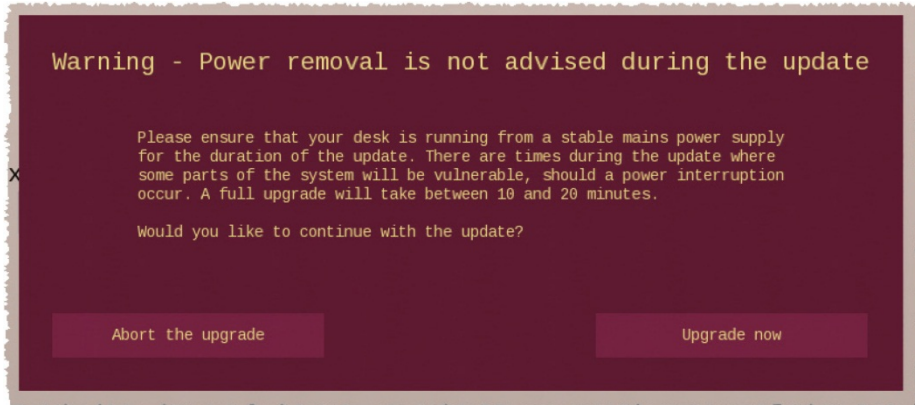


- 4 アップデータの準備が完了すると、アップデート画面が開きます。自動的にシーケンスを最後まで行い、システム内のすべてのユニットを検出します。この間、アップデート・メニューは利用できません。検出が終了すると、緑色のバー (右の画面例) の真上にテキスト「Select items for upgrade」が表示され、アップグレードを選択できる機器は青色に変わります (「機器ブロック」を参照)。

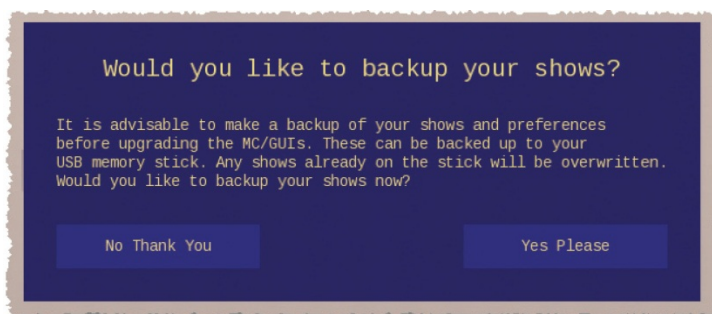


注: めったにありませんが、「Some units not detected」メッセージが表示された場合は、システムの相互接続が適切であるかをチェックし、[OK] をクリックして処理を続けてください。

- 5 [Select All] をクリックし、すべての機器のアップデートを選択します。このとき選択を編集する場合は、機器ブロックでクリックし、機器を1つずつ選択/選択解除します。[Remove All] をクリックして、選択したすべての機器の選択を解除することもできます。アップグレードを選択した機器のブロックに Midas 社のメダルが表示されます。
- 6 [Update Now] をクリックします。すると、警告ウィンドウが開きます (下記の画面例を参照)。



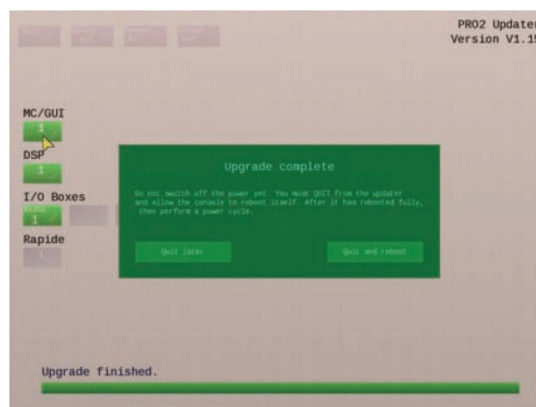
- 7 ここで [Upgrade Now] をクリックします。この後、ショーをバックアップするかどうか確認するウィンドウが開きます。



- 8 [No Thank You] をクリックし、アップグレードを開始します。(このとき、ショーと環境設定をバックアップする場合は、[Yes Please] をクリックします)。機器ブロックの色がアップデート状態に応じて変わります (「機器ブロック」を参照)。一番下の緑色のバーが現在の処理の進行状況を知らせます。アップデート手順中の代表的な画面ディスプレイは図 A 「代表的なアップデータ・ディスプレイ」に示してあります。

アップグレード中、すべてのシステム機器の電源をオンのままにしてください。

- 9 アップグレード手順が終了すると、「Upgrade complete」というメッセージが表示されます (右の画面例)。



コンソールの再起動が完了するまで、電源を切らないでください。

- 10 [Quit and reboot] をクリックしてアップデートを終了させ、System を自動的に再起動させます（アップデートは [Quit later] をクリックした後で終了します）。

ユニットがアップデートに失敗した場合は、[Quit] をクリックせずユニットを選択し、アップデート手順を再開します。

GUI に右に示した画面が表示されます。

コンソールの再起動が完了するまで、電源を切らないでください。



- 11 システムの再起動が終了した後、システム (すべての I/O ボックスを含む) の電源をいったん切って入れ直し、新しいソフトウェアを使用して再起動します。これには、システムの電源を切った後、再度電源を投入してください。サーフェスは、再起動が 2 回必要となります。GUI などが正常に起動した後に再度再起動を行ってください。

>> **旧バージョンのホスト・ソフトウェアでアップデートするには**

手順は最新バージョンのホスト・ソフトウェアのインストールと同じですが（上記に説明）、

home ▶ Preferences ▶ Upgrade サブメニューから最新バージョンではなく必要な古いファイル・バージョンを選択します。



アップデートで使用する USB ポートは、システムによって異なります。

PRO1-2 : サーフェス上の USB ポート

PRO3-6-9 : アクティブの USB ポート

XL8 : Bay-1 の USB ポート



XL8 のアップデート終了後、GUI の設定がすべて Bay-1 となってしまいます。

プレファランス・ページより GUI の設定を行ってください。

 **ベストエックオーディオ株式会社**

本社 〒130-0011 東京都墨田区石原4-35-12 Tel (03) 6661-3825 Fax (03) 6661-3826
大阪 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-4-14 ショーレィビル602 Tel (06) 6359-7163 Fax (06) 6359-7164

Web : www.bestecaudio.com
Email : info@bestecaudio.com